

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2023年3月期 第3四半期 連結決算の概要

2023年2月7日

連結：増収減益

売上高	46,918百万円(+ 3,148百万円)
営業利益	471百万円 (△748百万円)

売 上： 新型コロナの影響から回復が見られ、国内は増収に転じ、海外は透析及び血液・細胞領域が継続伸長、円安による円貨換算額の増加も加わり増収

利 益： 増収効果はあるものの、原材料費や電力費、海上運賃の高騰影響に加え、労務費の増加や、段階的な販売活動の再開に伴い販売費が増加したことにより減益

システム別売上高

血液・細胞： 海外需要の回復が見られ、成分献血用回路や血液バッグが増加、連結増収を牽引

透 析： 北米や中国でA V F 針（血液透析用針）が引き続き増加

地域別売上高

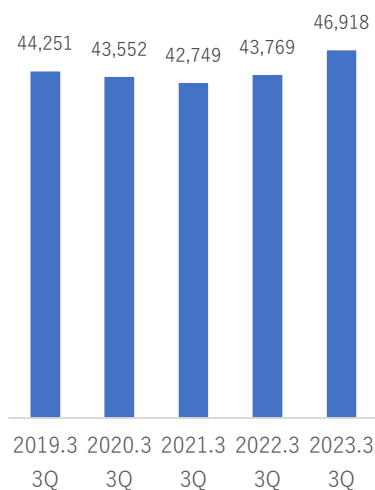
北 米： 大手顧客向けのA V F 針や成分献血用回路が増加

アジア： 血液バッグの増加に加え、中国でA V F 針や急性血液浄化事業に係る販売が増加

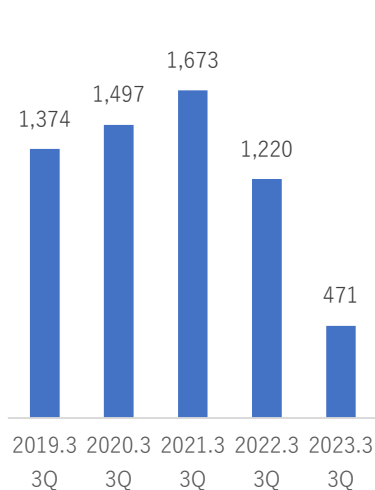
(単位：百万円)

	2022年 3月期 3Q	2023年 3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	43,769	46,918	3,148	7.2%
営業利益	1,220	471	△ 748	△61.3%
経常利益	1,233	420	△ 813	△65.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	883	131	△ 751	△85.1%

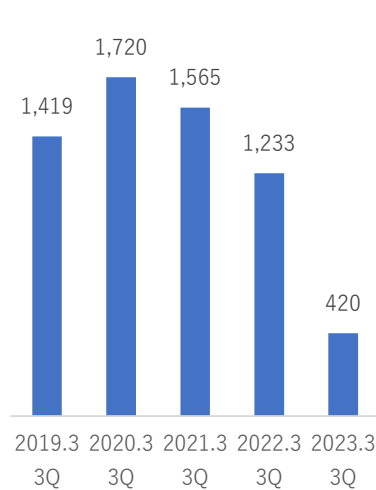
売上高



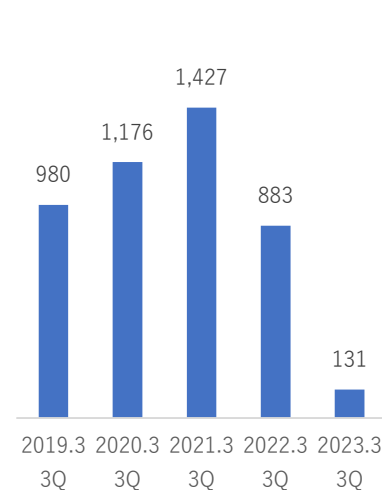
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 薬剤調製・投与クロズドシステムが堅調に推移、急性血液浄化事業に係る販売が中国向けを含めて増加し増収、利益は原材料費や電力費の高騰影響に加え、円安による外貨建て仕入取引の円貨換算額や販売活動費の段階的な増加により減益
- シンガポール： 北米向け成分献血用回路やアジア向け血液バッグの増加で増収、原材料費の高騰や労務費の増加を増収効果で吸収し、為替差益の計上も加わり増益

（単位：百万円）

		2022年 3月期 3Q	2023年 3月期 3Q	増減額	増減率
日本	売上高	32,031	32,923	891	2.8%
	利益	909	137	△ 771	△ 84.9%
シンガポール※	売上高	13,020	16,810	3,789	29.1%
	利益	41	222	181	441.4%
中国	売上高	2,544	2,953	408	16.1%
	利益	108	94	△ 14	△ 13.2%
フィリピン	売上高	2,429	2,718	289	11.9%
	利益	224	32	△ 191	△ 85.3%
ドイツ	売上高	2,643	2,817	174	6.6%
	利益	129	136	6	5.1%
その他※	売上高	3,009	4,012	1,003	33.3%
	利益	16	42	26	161.4%

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

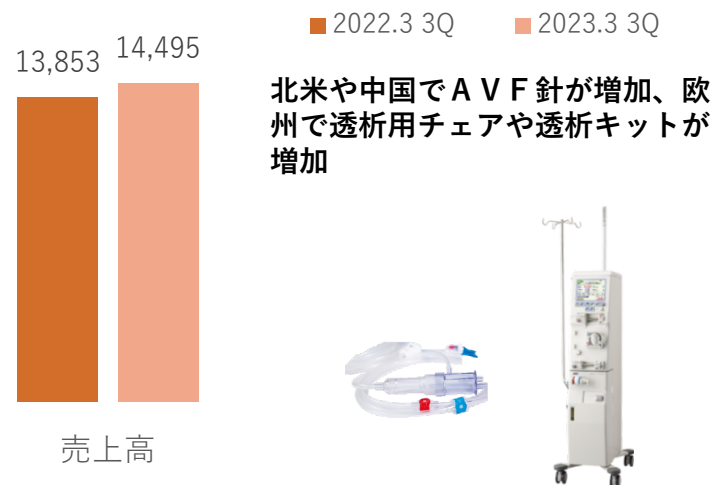
※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

輸液・栄養領域



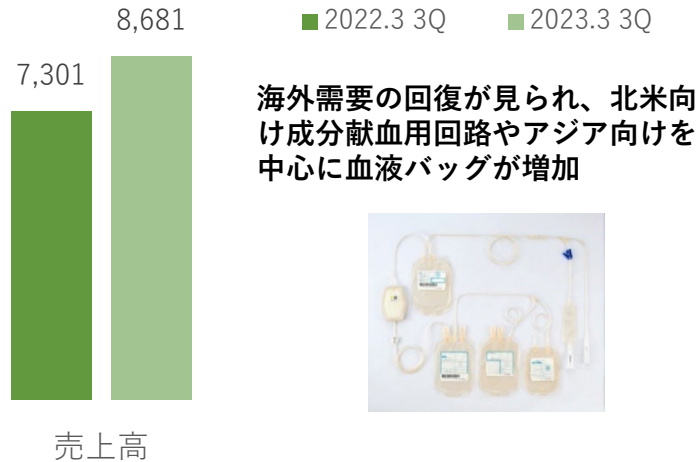
透析領域



外科治療領域



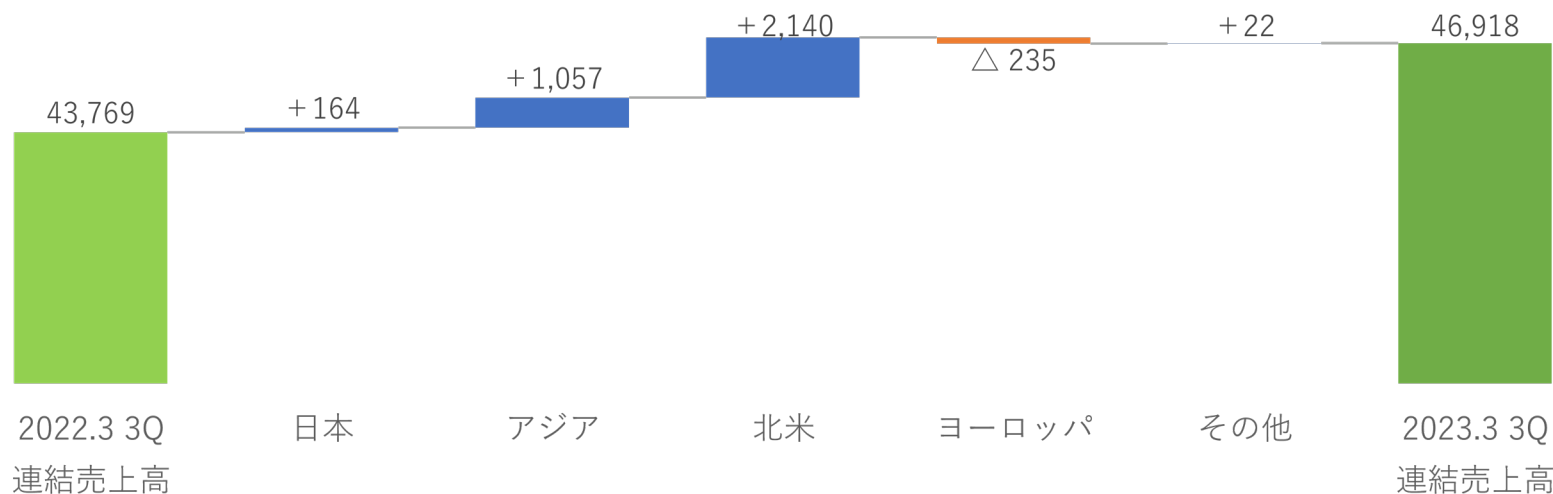
血液・細胞領域



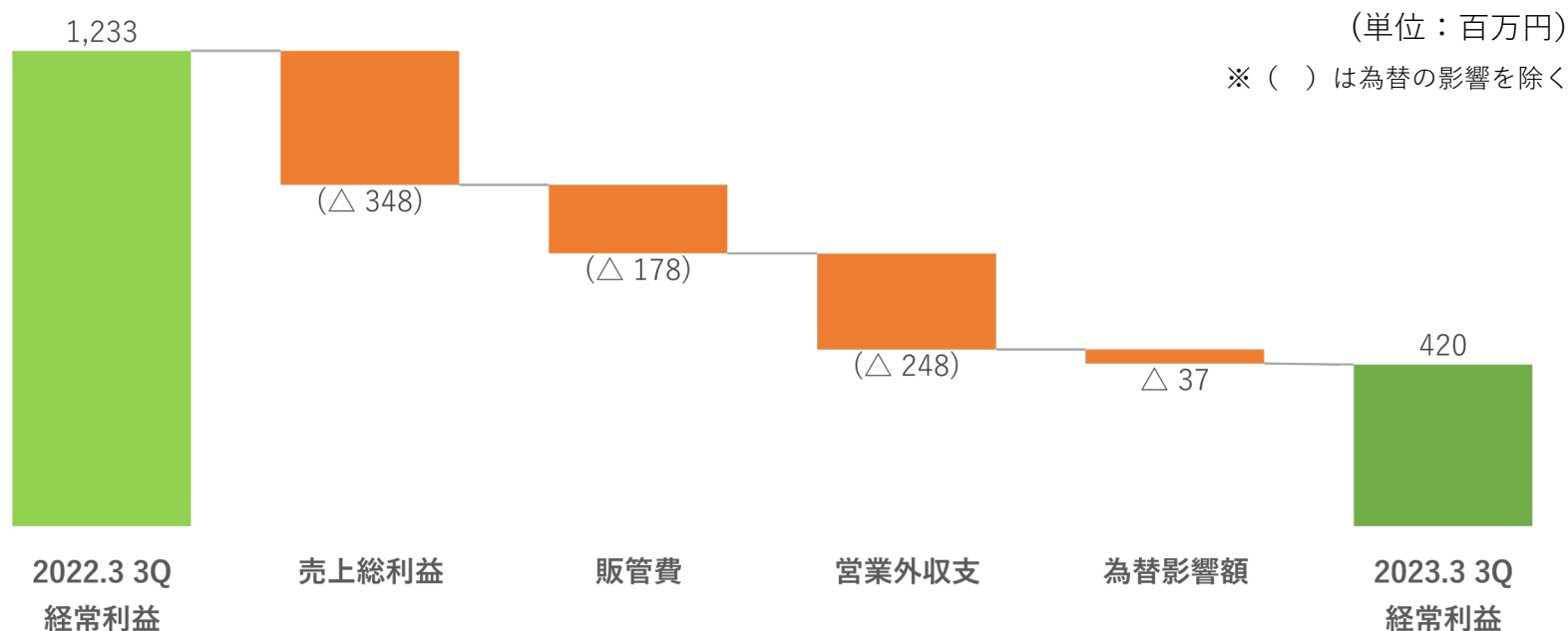
日本は新型コロナの影響から消耗品の需要が回復基調にあり増収に転じる
海外はアジアで血液バッグやA V F 針が増加、北米はA V F 針に加え成分献血用回路が増収を牽引

(単位：百万円)

	2022年 3月期 3Q	2023年 3月期 3Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	28,871	29,036	164	0.6%	61.9%
アジア	6,188	7,245	1,057	17.1%	15.4%
北米	3,279	5,420	2,140	65.3%	11.6%
ヨーロッパ	4,546	4,310	△235	△5.2%	9.2%
その他	884	906	22	2.5%	1.9%



原材料費や電力費、海上運賃の高騰影響を受けた原価率上昇により売上総利益が減少、段階的な販売活動の再開に伴い販売費が増加、営業外では持分法による投資損失を計上



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2022年 3月期 3Q	111.10 円	129.83 円	82.46 円
2023年 3月期 3Q	136.51 円	135.95 円	98.36 円

(単位：百万円)

	2022年 3月期実績	2023年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	58,169	62,000	6.6%
営業利益	980	400	△59.2%
経常利益	1,126	400	△64.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	826	200	△75.8%

※業績予想にあたっては、前提となる為替レートを、
1米ドル＝135円、1ユーロ＝138円、1シンガポールドル＝98円 としております。

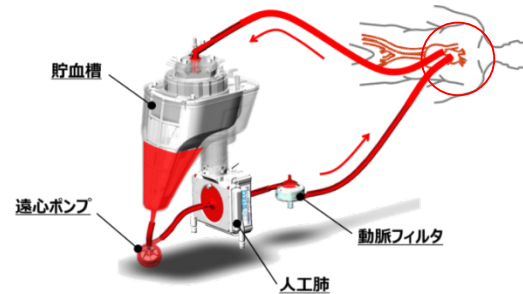
-
- 売上： 国内外の需要は回復傾向、着実な需要の取込みで引き続き増収を見込む
半導体等の調達難による装置の供給リスクは、協力会社と連携して最小化に努める
- 利益： 原価低減を更に推進し、原材料費や電力費など物価高騰の影響を吸収する
合わせて販売価格や海上運賃負担など取引条件の見直しを進める
-

2022年10月

人工心肺用遠心ポンプ「ミクスフローMP」が「2022年度グッドデザイン賞」を受賞
ポンプ形状及び内部の流動状態を最適化することによって、血液へのダメージ負荷や血液の凝集塊（血栓）の形成を低減。患者さんへの侵襲と負担を軽減する優れたデザインが評価されました。



人工心肺用遠心ポンプ「ミクスフローMP」



人工心肺装置を使った体外循環



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。